

特別展「ドキュメント『アートキャンプ白州』 —記録映像で甦る夏 1988～2010—」

山梨県立美術館

出品リスト

会期: 2025年2月15日(土)～3月23日(日)

※資料や画像は一部を除いて(株)Madada提供

タイトル	作者	制作年	素材、技法	寸法 cm(縦×横×幅)／ 上映時間
第1章 「アートキャンプ白州」のはじまり 「アートキャンプ白州」の始まりは1988年、3日間の祭り「白州・夏・フェスティバル」からでした。打楽器奏者ミルフォード・グレイブスと田中浜のコラボレーションパフォーマンス、剣持和夫や榎倉康二といった美術家の野外制作、東京沖縄県人会青年部によるエイサーなど、初年から多様な芸術が「白州」で展開されました。本章では映像作家のチャーリー・スタイナーが1988年および1989年の「白州」を写した記録映像を展示し、最初期の「白州」を追体験します。				
HAKUSHU ART CAMP 1988 PART 1-PREPARATION	チャーリー・スタイナー (撮影、編集)	2022	映像	12分13秒
HAKUSHU ART CAMP 1988 PART2	チャーリー・スタイナー (撮影、編集)	2022	映像	13分27秒
HAKUSHU ART CAMP 1988 PART3	チャーリー・スタイナー (撮影、編集)	2022	映像	10分39秒
HAKUSHU ART CAMP 1989	チャーリー・スタイナー (撮影、編集)	2022	映像	21分01秒
第2章 資料でたどる「アートキャンプ白州」ポスター、冊子、アーカイブ映像等 「白州・夏・フェスティバル」(1988-1992年)を出発点に、「アートキャンプ白州」(1993-1999年)、「ダンス白州」(2001-2010年)と時期ごとに呼称を変えながら、「白州」は様々な変遷をたどりました。本章ではポスターや冊子、山梨放送のアーカイブ映像などを中心に展示し、「白州」の20年以上の歴史を視覚的に振り返ります。				
パンパン号	—	—	荷車、塗装	136.5×330.0×125.0
ガイドブック 1988年	—	1988	—	21.0×13.2
ガイドブック 1989年	—	1989	—	21.0×13.2
ガイドブック 1990年	—	1990	—	21.0×13.2
ガイドブック 1991年	—	1991	—	21.0×13.2
ガイドブック 1992年	—	1992	—	21.0×13.2
ガイドブック 1993年	—	1993	—	21.0×13.2
ガイドブック 1994年	—	1994	—	21.0×13.2
ガイドブック 1995年	—	1995	—	21.0×13.2
ガイドブック 1996年	—	1996	—	21.0×13.2
白州新聞 ファイル (市原湖畔美術館まとめ)	—	—	—	—
雑誌切り抜き ファイル (市原湖畔美術館まとめ)	—	—	—	—
ポスター 1988年	—	1988	—	B1
チラシ 1988年	—	1988	—	B4二つ折り
チラシ兼ポスター 1988年	—	1988	—	A2直角四つ折り
ポスター 1989年	—	1989	—	B1
チラシ 1989年	—	1989	—	A3二つ折り
チラシ 1989年	—	1989	—	A3二つ折り
チラシ 1989年	—	1989	—	A3二つ折り
チラシ 1989年	—	1989	—	A3二つ折り
ポスター 1990年	—	1990	—	B0
チラシ 1990年	—	1990	—	A3二つ折り
チラシ 1990年	—	1990	—	A3二つ折り
ポスター 1991年	—	1991	—	B1
ポスター 1991年	—	1991	—	B1
チラシ 1991年	—	1991	—	A3横二つ折り
チラシ 1991年	—	1991	—	A3横二つ折り
ポスター 1992年	—	1992	—	B1
ポスター 1992年	—	1992	—	B1
ポスター 1992年	—	1992	—	B0
チラシ 1992年	—	1992	—	各A3二つ折り
チラシ兼ポスター 1993年	—	1993	—	A2十字四つ折り
チラシ兼ポスター 1993年	—	1993	—	A2十字四つ折り
チラシ兼ポスター 1994年	—	1994	—	A2十字四つ折り
チラシ兼ポスター 1994年	—	1994	—	A2十字四つ折り
ポスター 1995年	—	1995	—	B0
チラシ兼ポスター 1995年	—	1995	—	83.5×29.7
ポスター 1996年	—	1996	—	B1
ポスター 1996年	—	1996	—	B1
チラシ兼ポスター 1996年	—	1996	—	62.8×30
チラシ兼ポスター 1997年	—	1997	—	A3二つ折り
ポスター 1998年	—	1998	—	B1
チラシ兼ポスター 1998年	—	1998	—	62.8×30.0
チラシ兼ポスター 1999年	—	1999	—	62.8×30.0
チラシ兼ポスター 2001年	—	2001	—	A3二つ折り

チラシ兼ポスター 2002年	—	2002	—	A2十字四つ折り
チラシ兼ポスター 2003年	—	2003	—	A2十字四つ折り
チラシ兼ポスター 2004年	—	2004	—	A1
チラシ兼ポスター 2005年	—	2005	—	A1
チラシ兼ポスター 2006年	—	2006	—	A1
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
ポスター 2007年	—	2007	—	78.5×54.7cm
チラシ 2007年	—	2007	—	A3二つ折り
永六輔が見た〈白州〉 ～山梨放送アーカイブ映像より～	山梨放送（制作著作）	2025	映像	9分22秒

第3章 「アートキャンプ白州」の「場」と「空間」美術と建築を中心に

〈白州〉のきっかけは、美術家の剣持和夫が白州で活動する田中泯を訪れ、作品を野外に設置したことでした。以降、榎倉康二、原口典之、高山登といった多くの美術家たちが〈白州〉において作品を制作し、それぞれの「場」を創り出しました。野外に設置された美術作品は「風の又三郎」と総称されました。美術に加え、〈白州〉では象設計集団の樋口裕康を中心に建築にかかわるワークショップも行われ、「竹のドーム」や「土の家」が創り上げられました。出現した「場」は、パフォーマンスを行うための「空間」にもなり、重層的な共鳴が繰り返されました。本章ではその様子を記録写真でたどるとともに、〈白州〉の運営に大きく貢献した芸術評論家でアートプロデューサーの木幡和枝のインタビューもご覧いただけます。

(無題)	榎倉康二	1987	シルクスクリーン・和紙	50.0×66.0
白州、夏フェスティバル「壁」コンクリート	榎倉康二	1988	鉛筆、水彩・紙	27.0×36.5
(無題)	高山登	不詳	複合技法	78.5×108.5
(無題)	高山登	2002	複合技法	75.5×59.0
(無題)	原口典之	1996	鉛筆・紙	36.0×25.1
(無題)	原口典之	1996	不透明水彩、鉛筆、テープ、方眼紙、インク・紙	64.0×82.0
白州 d-2	原口典之	2006	複合技法	79.0×54.5
(無題)	藤原瞬	1989	モノタイプ版画・紙	77.0×102.0
(無題)	リチャード・セラ	1990	エッチング、カーボラダム・紙	49.5×57.5
(無題 スカート)	カレル・アベル	1990	油彩・布	高135.0
(無題 スポン)	カレル・アベル	1990	油彩・布	高105.0
(無題 仮面3面)	カレル・アベル	1996	油彩・木	各高約25.0
	北田英治	1995	写真	—
木幡和枝インタビュー 1988年、1989年の「白州・夏・フェスティバル」について	チャーリー・スタイナー（聞き手、編集）	2022	映像	16分51秒

第4章 記録映像の部屋 パフォーマンス映像、田中泯インタビュー等

今まで見てきたように、〈白州〉では音楽、演劇、舞踏、美術、建築、芸能、農業など、様々な分野に関わる人々が集い、互いに交流し、時には生活を共にしながら、その場でしか生まれ得ない数々のものを生み出しました。本展最後の展示室では、その様子をとらえた記録映像の数々をご紹介します。映像には南シベリアのホームイを披露したTUVA アンサンブルの演奏（1994年）、チェコの人形劇（1998年）、シモーヌ・フォルティ（2003年）といった国内外から〈白州〉に参加したダンサーのパフォーマンス、〈白州〉で活躍したポランティアや、子どもたちの生活などが収められ、当時の様子を今日の我々に伝えます。また本章最後には、田中泯が〈白州〉閉幕12年後に臨んだインタビューをご覧いただけます。

〈白州〉のパフォーマンス 内容： ①ロシア・トゥバ共和国のホームイ TUVA アンサンブル 1994年8月25日 ②「千年を聴く、千年を語る」 イヴァ・ヴィトヴァ(チェコ)＋辛惠英(韓国)＋巻上公一(日本) 1996年7月26日 ③セルビアのバイオリニスト初来日のソロ公演 フェリックス・ライコ 1997年8月10日 ④チェコの人形劇「ビスカンデルドゥーラ」 1998年8月17日 ⑤パフォーマンスウィーク「風の便り」 風倉匠「カハラ 98 白州」 1998年8月8日 ⑥ポスト・モダンダンスの時代のダンサー シモーヌ・フォルティ 2003年6月17日	市原湖畔美術館（編集）	2022	映像	23分19秒
DANCE HAKUSHU 2005	リザ・アドリアン（監督、撮影、編集）	2005	映像	1時間51秒
追悼 榎倉康二—浸透する時間—	—	1996	映像	35分7秒
「白州・夏・フェスティバル '89ハイライト」	木村功（撮影・編集）、藤岡輝彦（編集）	1989	映像	58分17秒
「アートキャンプ白州」とは何だったのか—田中泯が語る	山岡信貴（撮影編集）	2022	映像	20分17秒